

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築					
市町村名	千曲市		ふりがな 箇所名	(主)大町麻績インター千曲線		事業年度 (完了年度は見込み)	扇平		H23年度～		H30年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=800m W=5.5(7.0)m (うち橋梁45m)					H22年度末事業進捗率		0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース		0%				
	H23年度実施内容	地質調査、詳細設計 1式					用地補償費ベース		0%				
	事業費計(千円)	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残			
	財源内訳	国庫支出金	390,000		0		0		16,000		390,000		
	その他												
	県債	351,000		0		0		14,400		351,000			
	一般財源	39,000		0		0		1,600		39,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上			1,500台以上～4,000台/日未満		1,500台未満		B	0	B	0
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある					5		5
		ネットワーク (道路網)	バス路線である			駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		A及びBに該当しない			3		3
			ボトルネック箇所			ボトルネック箇所でない					4		4
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない					2		2
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)			4.0m以上5.5m未満(幅員)		5.5m以上(幅員)			6		6
		他事業との関連	歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し			0		0
			河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施								0		0
	小計									20	20		
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い			環境配慮がされているが確実性が低い		環境配慮をしていない		B	3	B	3
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)			緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない			3		3
		小計									6		6
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	5	B	5
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内			事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上			2		2
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない			7		7
		小計									14		14
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	10	A	10
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に係らない道路			6		6
小計									16		16		
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	3	B	3	
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4		4	
	小計									10		10	
費用対効果(B/C)		1.6			評価の合計				B	66	B	66	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は千曲市上山田地区と長野自動車道麻績インター、筑北地方を結ぶ重要路線である。平成17年に坂上トンネルが開通し交通事情は向上し、その後ネックとなる箇所は道路改良により整備されたが、当該区間は最後に残った幅員狭小、急カーブ箇所である。一度大型車が通過するとすれ違いが困難であり、この路線の利便性向上のためにも整備が急がれる。											
	地域からの要望経緯	千曲市より毎年要望があがる。また、当路線の期成同盟会からも毎年要望があがる(平成21年11月9日)。											
	事業説明等の経緯	千曲市と調整している。平成22年2月に地権者を含めた地元関係者への説明会を実施(早期完成を要望された)。											
	環境・景観への配慮項目	構造物を極力なくす。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
特記事項	特になし。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	当区間を整備することで、落石危険箇所を解消するとともに突角部の視距が確保され、安全確保が図れることから早急に整備する必要性がありH23年度から事業化したい。				政策評価課		意見		緊急性が認められる。				